

7月1日 p4c ミーティング 菱田発表資料

■石橋での取組紹介

- ・これまでの p4c の取組

2015年～：家庭教師、集団補習塾、子ども向けイベント、夜店の運営

2016年～：

-第1回（p4cの名前を冠したイベント）：漢字クイズ、動画紹介（中川さん、筑波大）、
鷲田清一のスピーチの紹介（小学4年生、保護者、大学生）

-倫理の教科書に習った模擬授業（リクルートの「スタディサプリ」を参考にした）

-「見ないで見る」絵画鑑賞会（大人、高校生5人で）

※このあたりから、ちょっとずつ p4c のスタイルに対して自分の納得感が深まってき、
既存の手法に接近していく

-詩（谷川俊太郎）を使った会（高校生、一般）

-人形を使った回

-コミュニティボールを初めて使った回

※この時、「進行役の過去から、相談したい内容を持ってくる」というスタイルを実施し
てみて、手ごたえを得る

-初めて子どもだけの取組を行った回

-子どもの年齢が幅広すぎて崩壊した回

※「途中でやめたくなるのをなんとか最後まで乗り切る」感覚との戦い

- ・拠点について（補助金申請書類参照）

■今後の取組について皆さんに相談したいこと

- ・利用方法のアイデア

- ・名前、体制

- ・大切にしたいこと

-p4c の取組、探究を継続的に行う

-研究機関、資料館としての役割

-p4c に取り組む人たちのコミュニティになる

※将来の見通し

どんなことがあっても1年（2018年6月まで）は続ける（金銭的事情から）

もし、拠点としての継続が難しい場合、拠点はあきらめて、ゲリラ活動に戻る

■文章（「ズレとズレの間で考える」）

（以上）